



縛られない アートの方で 人と人を繋げたい

えましたが、人や土地との繋がりができた山口にしました。創業して感じることは、時間と経費の使い方が大事ということです。制作に集中できるというんですけど、事務作業も大事。スタッフの時には薄かった感覚ですね。今は、名刺やショップカード、パッケージデザインなどを行い、アート企画にも関わっています。その合間に海外でエネルギーを充電するといった感じでしょうか。

最後は人と人とを繋ぐ

創業して1年半ですが、まだまだ試行錯誤。アート作品と違い、デザインは商品と作者が一致することがないので、私がどんなものを作るのか分からない人も多いと思います。今後は私自身を知ってもらうためのオリジナル商品の制作も検討しています。夢は、いつか自分のネットワークを活かして国内外からアーティストを招くこと。滞在制作をしてもらうアトリエや宿泊施設などのレジデンススペースを作りたいですね。



チラシ成果物など

※起業カレッジとは

起業に興味がある方から起業後間もない方までを対象に、各段階に合わせて起業の基礎知識から学び、実践的な事業計画書の作成までをおこないます。今年度は終了しました。



cagerowproduction (カゲロウプロダクション)

代表者：鈴木 啓二郎
所在地：山口市松美町1-23

T E L : 090 - 3879 - 9658
H P : <http://www.cagerowproduction.com>

事業内容：アート＆
デザイン事業

アートを選んだ理由

私がアートの道を選んだのは、分野に縛られない横断的な要素があったと感じたからです。今でこそ総合学部がありますが、当時は個々の分野を深めることが中心で、他分野を応用すれば結構簡単に解決できるようなこともあるのではと思っていました。単なる自己表現だけでなく、創造性があり社会貢献もできるアートはとても魅力的でした。

山口との関わり

私が本格的にアートを学んだのは遅く、大学卒業後です。アメリカに留学し、テキサス州のヒューストン大学大学院で彫刻を学びました。様々なアートプロジェクトに関わる機会もあり、その中で任されたギャラリーの企画運営はとてやり甲斐を感じました。できれば日本でも企画に関わりたいと思い仕事を探しましたが、採用されたのは秋吉台芸術村の制作補助と通訳の仕事。2011年1月、これが私と山口との最初の関わりです。



展覧会

山口と繋がる

補助スタッフは事業毎の採用になるので、約3ヶ月単位で職場が変わります。秋吉台の後も国内外を移動し、本格的に山口に住み始めたのは2014年山口大学研究室の企画でした。それまでの滞在型事業では施設に住み込むことが殆どで、その土地で生活している実感は余りありませんでした。しかし、今回は期間も長かったため自分でアパートを借りて、地元の人と繋がる生活がスタートしました。



スコットランドでのレクチャーの様子

やりたい事をするには

企画の任期が終わった頃、友人の勧めもあり起業カレッジ(※)を受講しました。これまでの自分を振り返って、会社員にはなれないなと思ったのがきっかけです。自分のやりたい企画や人と人を繋ぐ仕事をするにはどうしたらいいのか、そのためにも収入基盤を確保しなければならない、身を削ってばかりでは継続できない。講師と一緒に受講した仲間と議論して出した答えは、今も迷子になりそうな時自分の頭に甦ってきます。

山口、時々海外

創業は2016年6月。地元の名古屋も考